

当科で胎状奇胎除去術を受けられた患者様へ

作成日 平成 30 年 5 月 14 日

研究：胎状奇胎の搔爬回数と続発症頻度に関する調査研究__の実施について

1. 本研究の意義および目的

本邦では胎状奇胎除去術後の再搔爬が施設ごとの基準に従って多くの施設で行われてきたが、海外では通常 1 回のみ搔爬が行われている。現在、本邦で行われている胎状奇胎除去術後より 1 週間目での再搔爬の有用性について検討した報告がない。今回の研究により胎状奇胎除去術後の再搔爬の要否と選別についての提言が可能となることが期待される。

2. 研究の方法

2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの 3 年間に当院で初回治療が開始された胎状奇胎症例の診療録より必要なデータを収集する。習得した情報を日本産科婦人科学会「胎状奇胎の搔爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」へ送付し、詳しい解析を行う。

3. 試料等の保存および使用方法について

過去の診療録より、患者様の年齢、妊娠分娩歴、血液検査データ、手術手技、病理診断、超音波所見、再搔爬の有無、続発症の有無等について情報を収集する。

4. 研究全体の期間と予定症例数

2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日まで 3 年間に当科を含む、全国の日本産科婦人科学会腫瘍登録施設 (438 施設) で初回治療が開始された胎状奇胎症例
目標症例数: 2000 例

5. 研究結果の公表について 論文の発表をもって公表とする

6. 個人情報に関して

本研究で取り扱う患者様の個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切分からない形で当院より調査小委員会に提供し使用される。

7. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への協力を望まない場合には、その旨を当科まで申し出てください、対象に含めないようにする。

8. 研究資金および利益相反管理について

財源: 日本産科婦人科学会

利益相反: 無し

情報公開用文書

9. 研究機関、研究責任者および研究者

研究機関：日本産科婦人科学会「胎状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」

研究責任者：福岡大学医学部産婦人科 教授 宮本 新吾

研究者：九州大学病院産科婦人科 助教 兼城 英輔

熊本大学医学部保健学科 教授 田代 浩徳

千葉大学大学院医学研究院生殖医学 講師 碓井 宏和

名古屋大学大学院医療行政学 講師 山本 英子

10. 連絡先

〒770-8539 徳島市蔵本町1丁目 10-3

徳島県立中央病院 産婦人科 宮谷 友香

TEL:088-631-7151(代表) FAX:088-631-8354